

# マリ共和国・トンブクトゥ州の文化的特性に関する一考察 ーソンライのポピュラー音楽の視点からー

平成 20 年入学

参加したフィールドスクール：カメルーン共和国

調査地：マリ共和国

佐藤 浩介

キーワード： トンブクトゥ州，ポピュラー音楽，ソンライ，文化混濁

## 1. 自分の研究テーマについて

マリ共和国のポピュラー音楽の世界では，マンデ系またはそのグリオ出身者が多数活躍し，世界的名声を得る者も多く存在する。マリの音楽及びその周辺状況に関する研究も，多くがマリの多数民族であるマンデ系についてのものであった。以上のような有名音楽家の活躍や研究成果によって，マンデ系の音楽が殊更に注目され，それ以外の民族の音楽は等閑にされがちであった。

当研究では，マリ共和国北部に位置し，世界的名声を得た非マンデ音楽家を輩出した地域としても知られるトンブクトゥ州のポピュラー音楽に注目する。その成立過程や音楽の特徴，民族構成などの地域的特性との関連などを考察することによって，マリのポピュラー音楽の全体像の解明に寄与することを目的とする。

サハラとニジュール川の接点にあり，古くからの交易拠点であったトンブクトゥ市を中心とするこの地域には，ソンライ，フルベ，トゥアレグなど異なった文化的歴史背景を持つ民族が，相互に深い関わりを持ちながら混住する一方，マリにおいて最大の人口を有し，政治経済を牛耳るマンデ系民族は少数派となっている。当地のポピュラー音楽歌手たちは，マンデ系言語で唄うことは極めて少なく，当地の諸民族言語、それも複数の言語で唄うことが通常となっている。このようなポピュラー音楽のあり方は，当地の長い歴史を経た文化混濁を示唆すると考えられる。



pic#1

「トンブクトゥ No.1 歌手」ハイラ・アルビィさん  
(左から 3 人目) と、そのファミリー

[マリ共和国トンブクトゥにて]



pic#2

ソンライの伝統楽器・ビディガを演奏する  
モハメド・アガ・アボックさん。

「親指ピアノ」ならぬ「人差し指ピアノ」！

[マリ共和国トンプクトゥにて]

## 2. フィールドスクールで得られた知見について

当フィールドスクールで開催された講座演習で最も印象深かったのは、ピグミーのポリフォニー（「ベ」）の実演であった。ピグミーのポリフォニーは、民族音楽の世界ではすでによく知られているが、実際に眼前で行われているのを見ると、その折り重なりつつ複雑に変化する合唱に、ただ驚嘆するばかりであった。しかし、時間が経つにつれて、歌い手の中に新しいモチーフを提示する者、そのモチーフに追従する者、新しいモチーフにカウンター的な別のモチーフを提示する者などが存在し、その役割も流動的であるらしいことが解った。聞くところによると、一聴場当たりのにも聞こえる変化にも何らかの決まりがあり、直線的ではなく旋回的に推移するという。

また、西部フンバンを訪れた際には、「王様の楽団」と称するグループの生演奏を見る機会があった。彼らは、ナイジェリアで人気の高いポピュラー音楽「フジ」にとってもよく似た音楽を演奏した。フジ同様にイスラームの影響を感じさせる主唱者の節回しは、他のカメルーン音楽では聴き馴染みのないものであった。しかし、打楽器が刻むリズムは、フジのようなつんのめった疾走感溢れるものとは多少異なり、ラテン音楽の影響を感じさせた。カメルーン西部では、このような音楽が一般的に親しまれているであろうか。地理的に近いナイジェリアと、文化的な類似性を示唆するものといえる。



pic#3

ポリフォニーで、終始合唱をリードした2人の女性。  
特に右の女性は、際だった強い声の持ち主であった。

[カメルーン共和国・ディフォロンにて]

### 3. フィールドスクールで学んだことをどのように研究テーマにいかせるか？

今回のフィールドスクールから、自身の研究に直接的に活用できる講座があったとは言いきれない。しかし、移動の車中や市中などで耳にした音楽から、いくつかの面白い発見をした。

ガーナのパームワイン音楽の影響下に生まれ、カメルーン独自のポピュラー音楽として発展したマコッサは、あらゆる場面で耳にした。中でも、車中ラジオやアンドンでの歓迎会のBGMとして聴いた古い録音らしい数曲は、パームワインの薫り高いゆったりとした演奏で、激しいダンス音楽となったマコッサへ移行する過程を示すものといえよう。

一方で、マコッサと人気を分けるビクシィについては、有用な新たな情報は得られなかった。

入手できた音楽ソフトは、全てがコピー商品であり、正規盤を目にすることはなかった。自身の調査地マリでは、海賊盤もあるが正規盤も簡単に入手できる。カメルーンがアフリカ最初のポピュラー音楽発信地の一つであることを思うと、残念でならない。



pic#4

カメルーンで入手した音楽ソフト。  
全て海賊盤。

うち、2種はオリジナルのコピーで、  
3種は個人業者が勝手に作ったと思  
われる編集盤。

残りの1種は、中身違い。